

# ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：竹内潔、岡元正史

## ● 山手線の物語（後編）。

★ 1906年、私設鉄道が国有化された時点では、初代新橋駅－上野駅間は繋がっておらず、まだ東京駅も存在していない。国営化以前に話を戻そう。

★ 私設鉄道の日本鉄道株式会社は、上野駅が手狭になったことから旅客と貨物の駅を分離。1890年11月1日、火除け地跡に貨物の秋葉原駅（面積は約1万5千坪）を開業。のちに神田川を引き込んで船溜を設けて、鉄道と水運を連絡した。

★ 1889（明治22）年。

私設鉄道の甲武鉄道株式会社は、4月11日に新宿駅－立川駅間、同年8月11日に立川駅－八王子駅間を開業。

やがて中央本線は西へと延伸、名古屋駅へ到達する。併せて中央本線は東にも延伸されて、1904（明治37）年、新宿駅－御茶ノ水間が開業した。

★ 1894（明治27）年。

私設鉄道の総武鉄道株式会社は、7月20日に市川駅－佐倉駅間、同年12月

9日に本所駅（現在の錦糸町駅）－市川駅間を開業。やがて総武本線は東へと延伸されて、千葉県各地と繋がる。一方で西にも延伸。1904年4月5日、両国橋駅（現在の両国駅）－本所駅間を高架橋を建設して開業（日本で最初の高架鉄道）。両国橋駅は都心のターミナル駅となり、旅客は路面電車（東京市電）に乗り継いだ。また隅田川と繋ぐ運河が両国橋駅の構内に掘られ、水運と連絡した。

★ 日本鉄道は、1889（明治22）年に神戸駅まで全通していた官設鉄道の東海道本線の新橋駅と、自社の東北本線の上野駅を高架鉄道（市街地の用地買収が困難なため）で結んで、中間の皇居正面に中央停車場の建設を計画する。

★ 1906（明治39）年、全国の鉄道網を官設鉄道に一元化するため、私設鉄道の日本鉄道、甲武鉄道（1906年）、総武鉄道（1907年）のほか、17社を国有化。新橋駅－上野駅間の鉄道敷設と中央停車場の建設計画は官設鉄道が引き継いだ。

1914（大正3）年12月20日、竣工した中央停車場は、東京駅と命名された。

★ 東京駅の開業により、路線名称上の東海道本線（東京駅－品川駅間）、山手線（品川駅－田端駅間）、東北本線（田端駅－東京駅間）の3路線が環状運転で結ばれて、山手線（運転系統上の路線名）の運行が始まった。



**5月の定例会** 参加者は、2日（木）14+ゲスト2名、10日（金）14+ゲスト4名でした。

**6月の定例会** 6日（木）、14日（金）です。